



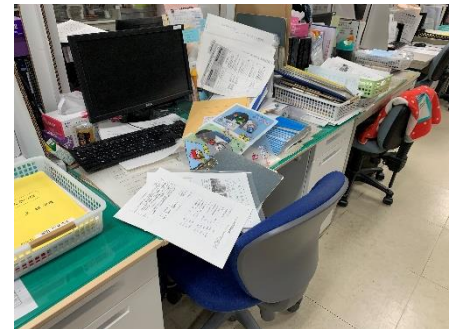
未来を夢見て

2021/2/14 No. 59

ドキュメント 「2.13大地震」

2月13日（土）、天気予報どおり、気温がぐんぐん上がり、最高気温は12° 近くにまでなりました。立春の頃は一分咲きだった天満宮の梅の花や榴岡公園の黄梅も間もなく満開を迎えそうなららかな陽気となりました。

夜、うとうとしながらテレビを見てみると、「ド、ド、ド、ドー」という嫌な地響きとともに、一気に強い揺れが我が家を襲いました（ただごとでない「揺れ」であることは直ぐに分かりました）。



23時17分、徳田教頭先生からのLINE「出勤して被害を確認します」が入りました。大和町の震度5弱を確認し、「1号配備」（深夜なので対応できる人だけ）。自宅周辺のマンションは緊急放送やサイレンが鳴り響き騒々しい状態ではありましたが、23時27分の家を出ました。

学校に着くと（0時10分頃）既に車が3台駐車しており、徳田教頭先生と安藤教頭先生、そして（何かお手伝いできれば・・・）ということでN先生が校舎内外の巡視をしてくださっていました（写真は校長室に掲額してある校長先生の写真をN先生に修正していただいているところ）。その後C先生も巡視に加わり、手分けして校舎内の確認をすることにしました。大きな被害がなかったのは幸いで、写真は3階校舎増築部分のつなぎ目のところの破損を確認したところです。途中教育委員会の菅原参事と情報交換しながら、今後の対応について相談することになりました（菅原参事も深夜までお疲れ様でした）。この時点で、給食センターに被害があったことが分かり、結果日曜日の点検次第、ということになりましたが、関係者の皆様の懸命な努力で、月曜日の給食は通常どおり出していただけることとなりました（日曜日11:55の校長メール）。



時計を見ると、2月14日（日）0時50分。徳田教頭先生に委員会への報告のFAXを送付してもらい、安藤教頭先生には職員に被害状況の報告と、1号配備解除の連絡のメールを送信してもらいました。私が家に戻ったのは2時過ぎ。県内の被害状況を確認し、寝床に入ったのは朝方近くでした。日曜日にも安藤教頭先生には学校で教育委員会の対応に当たっていただくなど、今週末お二人の教頭先生方には、休日返上で懸命に対応していただきました。ありがとうございました。

間もなく、東日本大震災から10年。被災地の私たちにとって、震災の記憶は決して風化させていけません。明日は、臨時で全校集会（放送）を設定し、余震に備えるとともに、自然災害の怖さに触れ、子供たちと全職員で防災意識を高めたい、と思っています。

（文責：手代木）